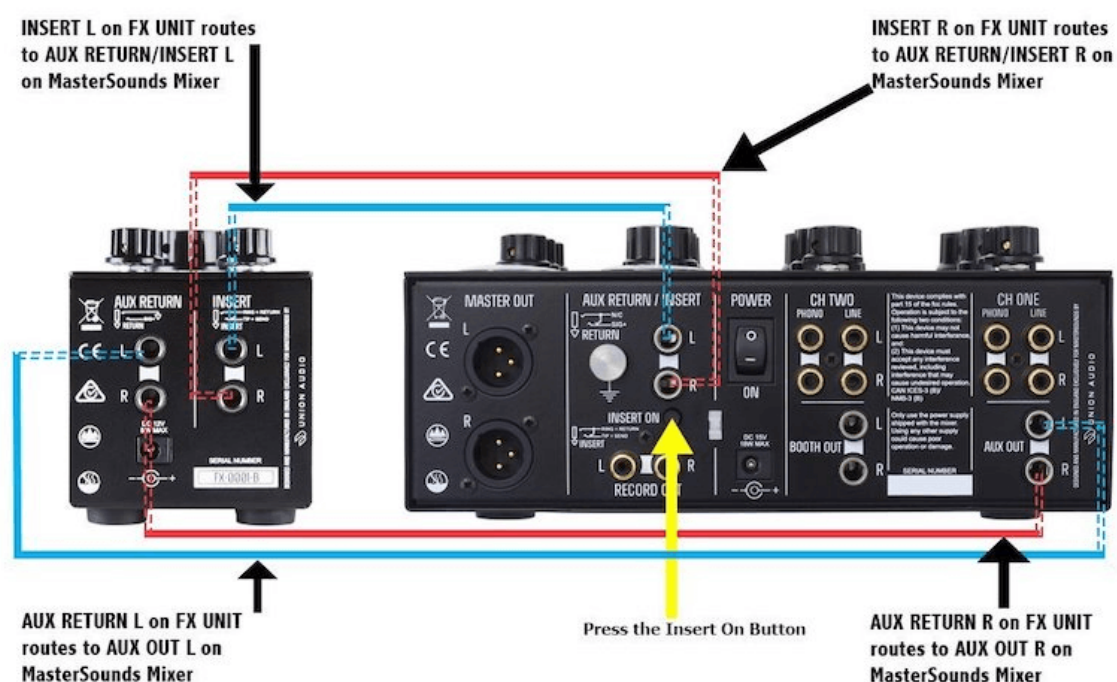


Mastersounds FX Unit

[FX UNIT接続方法]

Directions for connecting FX Unit to MasterSounds DJ Mixer

All cables are supplied with the FX UNIT



Radius 4VミキサーとFXユニットの接続には4本のTRSケーブルを使用します。

まず、付属のTRSケーブル2本をRadius 4Vミキサーの背面のAUX OUTに接続し、同じケーブルの逆側のジャックをFXユニットのAUX RETURNに接続します。

次に別のTRSケーブル2本をRadius 4Vミキサーの背面のAUX RETURN/INSERTに接続し、同じケーブルの逆側のジャックをFXユニットのINSERTに接続します。

その後、MasterSounds DJミキサーの背面にあるINSERT ONボタンを押すことでFXユニットに音を送られます。※FXユニットを接続せずにINSERT ONボタンをオンにすると音が出なくなりますので、FXユニットを使用しない場合はINSERT ONボタンをオフにしておいてください。また、FXユニットには電源スイッチがありません。電源プラグを挿すと電源が入ります。電源をオフにする時は電源プラグを抜いてください。

[FX UNITマニュアル]

MasterSounds FXユニットは、MasterSoundsのDJミキサーと完全に統合するように設計されており、他のFXユニットにはない方法でAUXセンド・システムとミックス・インサート機能の両方を最大限に活用することができます。

FXは、アナログ出力を備えたアナログ・エミュレーションFXセクション、アナログ・フィルター・ユニット、アナログ・ディストーション・システムの3つの製品を1つのボックスに収めています。アナログ・エミュレーションでは、8つの高品質なFXとして、3つのディレイ、3つのリバーブ、ノイズ・エフェクト、ピッチング・ディレイを提供します。

FXはミックスに溶け込むように設計されていますが、調整用のノブを使って様々なエフェクト・パラメーター（delay regen, filter frequencyなど）を変化させることができます。エフェクトの選択は3ビットのバイナリLEDカウンターで表示され、クラシックな雰囲気醸し出しています。

FXセクションの下にはアナログフィルターがあり、3種類のフィルター（ハイパス、ローパス、バンドパス）とカットオフ周波数とレゾナンスを調整するコントロールが用意されています。

フィルターセクションはMasterSoundsミキサーに見られるインサート機能を使用しているため、ミックス全体がこのセクションを経由してルーティングされ、各ミキサーの機能を拡張することができます。フィルターをオフにしても、FXプロセッサからの出力はローパスセクションに送られます。ハイパスとローパスのフィルターは、点灯しているボタンを両方を押すと、フィルターがバンドパスに切り替わります。ゼロクロス検出回路が起動時のフィルターのクリック音を最小限に抑えます。

ステレオ・ディストーション回路は、1つのロータリー・コントロールで操作される高度なDC制御のアナログ非対称シグナル・クリッパーです。クリップされた前後の音声のレベルをモニターし、必要に応じて自動的にメイクアップゲインを適用します（サイドチェインLEDで表示）。ディストーションコントロールは、微妙なウォーム感からハードクリップまでのレベルを調整しますが、クリッピングが非対称であるため、ウォーム感と個性を保持しています。

AUX INとINSERTの接続はいずれも1/4インチTRSジャックで、AUX INはフルバランス接続となっています。

[外部センド&リターンシステム]

FXユニットを繋いだら、ユニティーゲインに設定します。

ミキサーのチャンネルセンドを上げると、チャンネル音声はFXユニットに送られます。この音声はFXユニットで処理され、その出力がミキサーに戻され、再生中のトラックにエコーやディレイ、リバーブなどのエフェクトが追加されます。ミキサーのチャンネルセンドを下げると、FXユニットにチャンネル音声を送られなくなり、エフェクト音声も停止します。ミキサーのチャンネルセンドを上げると、エフェクト音声のレベルが上がります。

通常、AUXセンドへの入力はチャンネルフェーダーでもコントロールされますので、フェーダーを下げるとFXのレベルも下がりますが、AUXセンドPREボタンを押すと、チャンネルフェーダーを通過する前の音声はAUXセンドに取り込まれるため、フェーダーをオフにしてもチャンネル音声はFXユニットに送ることができます。例えば、新しいトラックをミックスする際に、ミックスしようとしているトラックに少量のディレイを導入してから、チャンネルフェーダーを上げて新しいトラックをミックスするという方法があります。

[FX UNITフロントパネル]



TIME - ノブを回して、Timeを選択します。

FX SELECT - ノブは1から8まで選択でき、番号ごとに異なるエフェクトが割り振られています。

FX NO	LIGHT CODE		
1	○	○	○
2	●	○	○
3	○	●	○
4	●	●	○
5	○	○	●
6	●	○	●
7	○	●	●
8	●	●	●

FX SELECTノブの下には、3つのLEDインジケータライトが表示されていて、どのFXが選択されているかが分かるようになっています。

エフェクト種類とノブの対応値

Effect No.	Effect Type	Time	Paramater	Filter	FX Description
FX1	Stereo Pitched Delay	Delay Time	Feedback	HPF Frequency	Analog style delay with high-pass filter
FX2	Delay Non Pitched	Delay Time	Feedback	HPF Frequency	Mono delay with high-pass filter
FX3	Delay Pitched Echo	Delay Time	Feedback	HPF Frequency	Mono delay with reverb on feedback
FX4	Reverb	Hall Size	LF Level	HF Level	General purpose reverb
FX5	Bass Reverb	Reverb Size	LF Level	HF Level	Reverb with huge low-end response
FX6	Gated Reverb	Reverb Size	Threshold	HF Level	Gated reverb with adjustable gate
FX7	Gated/Delay Noise	Delay Time	Filter Resonance	Filter Frequency	Gated and delayed noise with band- pass filter
FX8	Pitched Repeat	Pitch	Filter Resonance	Filter Frequency	Pitched repeat with HPF and res

PARAMETER - ノブをMINからMAX方向に回すことで、各エフェクトのフィードバック/LFレベル、フィルターレゾナンス、スレッシュホールドの量を選択することができます。

FILTER - フィルターノブを回すと、各エフェクトのハイパスフィルタリングが可能になります。※注意！ LOWに設定した場合、エフェクトは非常に強力になります。ミックス中のエフェクトの周波数は、フィルター・ノブを微調整してください。

RESONANCE - このノブは、フィルター周波数ノブにレゾナンスを加えます。ノブがMINに設定されている場合、フィルターは非常に自然なサウンドになります。MAX方向へレゾナンスを上げることで、HPFとLPFの両方のモードで、よりドラマチックなフィルタースイープを実現します。

DISTORTION - ディストーション・ノブは、時計回りにMINからMAXまで回すと信号に歪みを加えます。フィルターと連動しているので、フィルターボタンのいずれかが選択されていない場合は機能しません。※注意！ ディストーションは、RESONANCEがMAX付近に設定されているときに使用すると、非常に強力です。この機能は時間をかけて習得してください。

SIDE CHAIN - DISTORTIONノブを時計回りに回すと、SIDE CHAINが赤いLEDで点滅します（SIDE CHAINが点滅していなくてもディストーション回路を聞くことができますが、サイドチェインを有効にするためには、音声にさらに入力トリムを追加する必要があるかもしれません）。これは、回路が駆動されていることを示しています。

FILTER FREQUENCY - FX ユニットのメインコントロールノブで、EFFECTSセクションとFILTERセクションに送られるフィルターの量をコントロールできます。

FILTER FREQUENCYノブで、各フィルターを作動させたときのHPF、LPF、BPF（下記参照）を20Hzから20kHzの範囲で調整できます。周波数を調整しながら、RESONANCEとDISTORTIONのノブを調整し、複雑なフィルター効果を作り出すことを楽しんでください。

HPF ON - HPFボタンを押してハイパスフィルターのオン/オフを切り替えます。

LPF ON - HPFボタンを押してローパスフィルターのオンとオフを切り替えます。

BPF - HPFとLPFを同時にオンにすると、バンドパスフィルターが作動します。

フィルター周波数ノブはEFFECTSセクションと連動しており、ノブを回すことで、メインミックスに送られるエフェクトの量を調整することができます。FILTER FREQUENCYノブの使用方法は2通りあります。

MasterSounds DJミキサーのAUXセンドノブを任意のレベルに設定し、FILTER FREQUENCYノブを使用して希望のエフェクトをミックスに追加することができます。ノブを時計回りに回すとエフェクトがミックスに追加されます。

MasterSounds DJミキサーのAUXノブを開く前にFILTER FREQUENCYノブを調整することも可能です。例えばFX SELECTノブでお好みのディレイを選択し、FILTER FREQUENCYノブを希望の周波数に設定し、AUXノブを回すだけでミックスにエフェクトを加えることができます。

ミックスにエフェクトを追加する際、HPF、LPF、BPFをオンにすることができます。これにより、目的のエフェクトの上にフィルターが作成されます。FILTER FREQUENCYノブを時計回りに回してエフェクトを確認した後、目的のフィルターを押します。RESONANCEとDISTORTIONコントロールを使って、魅力的なフィルター付きエフェクトを作成できます。

また、MasterSoundsミキサーのPREボタンを使って実験することもできます。PREボタンはAuxセンドをポストフェーダーからプリフェーダーに切り替えます。（プリフェーダーの場合とロータリーフェーダーを下げて音声もAuxミックスバスに送られます）この機能を使って、素晴らしいプリフェーダーエフェクトを試してみてください。